

令和5・6年度

岡山県中学校教育研究会浅口支部・浅口市教育委員会指定

研究発表会

# 開催要項

研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の充実

～自ら学び、表現する活動を通して～



令和6年11月8日(金)

岡山県浅口市立金光中学校

## 1 日程

13:30 14:00 14:50 15:10 15:25 15:55 16:35 16:45

受付	公開授業	移動	開会	研究発表	講演	閉会
----	------	----	----	------	----	----

## 2 公開授業

学年 クラス	教科	単元(題材)名	指導者	教室
1A	理科	光・音・力による現象		第2理科室
1B	家庭	衣服の選択と手入れと持続可能な衣生活		被服室
2A	数学	図形の調べ方		2A教室
2B	社会	近世の日本		2B教室
2C	道徳	ネパールのビール		2C教室
3A	音楽	舞台芸術の共通性と固有性		音楽室
3B	国語	「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」		3B教室
3C	英語	Lesson5 I Have a Dream		3C教室
F	理科	自然と人間		F組教室

## 3 全体会

### 全体会(体育館)

- (1) 開会あいさつ 岡山県中学校教育研究会浅口支部長  
浅口市教育委員会教育長
- (2) 研究発表  
研究主任(授業研究部会)  
特別活動部会  
ICT環境部会
- (3) 講演 香川大学
- (4) 閉会あいさつ 浅口市立金光中学校長

令和5・6年度

岡山県中学校教育研究会浅口支部・浅口市教育委員会指定

研究発表会

# 学習指導案

# 思考ツール

次の二次元コードを読み取ると、金光中学校の HP から、研究紀要と本日の学習指導案及び思考ツールがご覧いただけます。



第1学年A組 理科学習指導案

令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 第2理科室 指導者

単元名	光・音・力による現象
指導計画	第一次 光による現象・・・8時間(本時は第3時) 第二次 音による現象・・・5時間 第三次 力による現象・・・9時間
本時案(指導計画 第一次 第3時)	
本時の目標	○ 鏡の手前にある人形が、向こうにあるように見える現象について、光の反射の法則を使って説明することができる。 [思考・判断・表現]

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 ドールハウスを覗いて中にある人形的位置を把握し、予想をワークシートへ記入する。 (5分)	○ 鏡を用いた仕掛けを使うことで、鏡に関わる現象について興味関心をもたせる。 ○ 覗く時間は、5秒程度にする。 ○ 予想を立てた後で、意見を共有する。	
2 めあてを知る。 (2分)	<b>めあて 鏡の手前にある人形が、向こうにあるように見える現象を自分の言葉で説明できる。</b>	
3 実験の説明を聞く。 (5分)	○ 反射によって物体が見えることを確認する。 ○ 像と鏡の向こうに置いた物体が一致した位置を見つけ印を付けることで人形、鏡、像の位置関係がわかるようにする。	
4 実験の予想をする。 (1)個人で考える。 (2)グループで考える。 (5分)	○ 鏡に映った物体がどの位置にあるように見えるかに着目させる。	○ 鏡の手前にある物体が、向こうにあるように見える現象について、光の反射の法則を使って説明することができる。 [思考・判断・表現] (ワークシート)
5 実験を行う。 (15分)	○ 班で協力しながら実験を行うように、役割分担を明確にする。 ○ 役割:鏡を上下に移動する、鏡の向こう側の物体の移動をする、観察者、記録者	
6 結果を考察し、発表する。 (10分)	○ 自分の考えを既習した用語を用いて表現するように伝える。 ○ 考察がしにくい生徒に関しては、図をペンで示すなどの手立てを行う。 ○ まとめは、Google Slidesで行い、班ごとにGoogle Classroomに提出する。	
7 まとめをする。 (5分)	<b>まとめ 鏡に映った像は、反射光の延長線上にあり、物体と鏡、鏡と像の距離は等しい位置にある。</b>	
8 振り返りをする。 (3分)	○ 既習事項や物体、鏡、像の位置関係に着目して振り返りシートに記入する。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

光の反射の法則に着目して、鏡に映った像について自分の言葉で説明できている。



第1学年B組 家庭科学学習指導案

令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 被服室 指導者

題材名	衣服の選択と手入れと持続可能な衣生活
指導計画	第一次 衣服の選択と着用・・・4時間 第二次 日常着の手入れ・・・5時間 第三次 衣服等の再利用・・・5時間(本時は第2時)
本時案(指導計画 第三次 第2時)	
本時の目標	○ 着用しない衣服の繊維の特徴やデザイン、柄を生かしてオリジナルのティッシュカバーの完成図を考えることができる。 [思考・判断・表現]

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 持参した布を用いて生活の中で活用できる布製品を作ることと、めあてを知る。 (3分)	○ 着用しなくなった衣服を再利用することで布を有効活用する経験をしていくことを伝え、製作に取り組むことができるようにする。 ○ 布を用意できなかった生徒にはあらかじめ何種類かの布を用意しておき、活動できるようにする。 <b>めあて デザインや柄など、布の特徴を生かして、ティッシュカバーの完成図を考えよう。</b>	○ 布のデザインや柄を生かして完成図を考えようとしている。 [思考・判断・表現] (プリント)
2 ティッシュカバーの作り方を確認する。 (9分)	○ 作り方を示したプリントや見本の布を用意することで、手順などを確認することができるようにする。 ○ 縫い方や糸の色を変えてデザイン性をもたせることができることを伝えることで工夫の幅を広げることができるようにする。	
3 持参した布の使い方を工夫し、完成図を考える。 (15分)	○ 型紙を用意し、布に配置できるようにすることで、絵柄や色合いの構図をイメージできるようにする。 ○ 一人で考えることが難しい場合には、周りの生徒に相談して決めてもよいことを伝える。 ○ 完成図を決めていくためのプリントを記入していくことで、意思決定のプロセスを自分で整理できるようにする。 ○ 活動が滞っている生徒には、プリントや具体物を用いてどこまでできているかを確認し、次の活動を促す。	
4 裁断やしるし付けの仕方を確認する。 (5分)	○ 作業の手順と道具の扱い方を示すことで、安全に作業することができるようにする。 ○ いつでも確認できるように黒板に掲示したり、画面に映したりする。	
5 決めた構図に基づいて布を裁断する。 (13分)	○ 教卓に見本を置くなどして、実際に見たり触ったりすることができるようにしておく。	
6 まとめをする。 (2分)	○ 着用しなくなった衣服でも、工夫をすれば生活に使えるものに作り替えることができることを確認する。 <b>まとめ デザインや柄など、布の特徴を生かしてティッシュカバーの完成図を考えることができた。</b>	
7 振り返りをする。 (3分)	○ 振り返りシートに記入する。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

布のデザインや柄を生かせるように、完成図を考え、布の使い方を工夫しようとしている。



第2学年A組 数学科学習指導案

令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 2年A組教室 指導者

単元名 第4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 2 多角形の角

指導計画 第一次 平行と合同・・・10時間(本時は第7時)

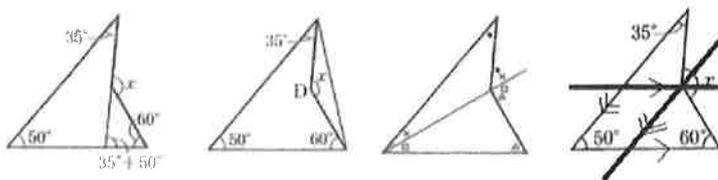
第二次 証明・・・6時間

本時案(指導計画 第一次 第7時)

本時の目標 ○ へこみのある図形の角の大きさの求め方を説明することができる。  
〔思考・判断・表現〕

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 前時の学習を振り返る。 (5分)	○ プレゼンテーションソフトを使い、平行線の性質や三角形の内角・外角の性質など既習内容を想起できるようにする。	
2 本時のめあてを知る。 (2分)	○ 補助線をひくことで、平行線の性質や三角形の内角・外角の性質を見つけやすくなることに気づくことができるようにする。	
3 学習した内容を活用して問題を解く。 (5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>めあて どのようにして角の大きさを求めたか説明できる。</p> </div>	
4 角の大きさを求め、どのようにして考えたか表現する。 (1)個人で考える。 (2)グループで考える。 (3)全体で発表する。 (20分)	○ 先行課題を確認することで、本時の問題に取り組みやすくする。	
4 角の大きさを求め、どのようにして考えたか表現する。 (1)個人で考える。 (2)グループで考える。 (3)全体で発表する。 (20分)	○ どの性質を使ったか明記することで、表現しやすくする。 ○ 個人で考え、その後グループで役割を与えることで、円滑な話し合いができるようにする。 ○ 図形が書かれたプリントを配布することで、他の人の考えやグループの意見を確認しやすくする。 ○ 解決の見通しが立ちにくい生徒には、先行課題と本時の問題を見比べることで考察しやすくする。	○ 角の大きさを求め、どのようにして考えたか表現している。 〔思考・判断・表現〕 (発表・観察・グループ活動・ワークシート)
生徒の記述予想：以下の図		
5 本時のまとめを聞く。 (3分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>まとめ 補助線をひくことで、既知の性質を使い、多様な方法で解決できる。</p> </div>	
6 類似問題を解く。 (10分)	○ 自分の解きやすい方法で解くことや、自分が考えた解き方以外で解くことを伝える。	
7 振り返りをする。 (5分)	○ 振り返りシートに記入することで、自分の学習を確認しやすくする。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例  
補助線をひき、どの性質を使ったかワークシートに表現している。





第2学年B組 社会科学習指導案	
令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 2年B組教室 指導者	
単元名	第4章 近世の日本 3節 産業の発達と幕府政治の動き 7 外国船の出現と天保の改革
指導計画	第一次 ヨーロッパ人との出会いと全国統一・・・7時間 第二次 江戸幕府の成立と対外政策・・・5時間 第三次 産業の発達と幕府政治の動き・・・8時間 (本時は第8時)
本時案 (指導計画 第三次 第8時)	
本時の目標	○ 江戸幕府が260余年も続いたのはなぜか、資料を用いて根拠をあげながら説明することができる。 [思考・判断・表現]

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 前時の学習を振り返る。 (4分)	○ プレゼンテーションソフトを使い、クイズ形式で単元の内容を想起できるようにする。	
2 江戸時代がどのように続いてきたか年表で確認する。 (2分)	○ 年表から、江戸時代が長く続いたことに気づかせる。また、改革などのできごとを確認できるようにする。	
3 本時のめあてを知る。 (2分)	○ ワークシートにめあてを書く。 <b>めあて 江戸時代が260余年も続いたのはなぜか3つ説明できる。</b>	
4 主な改革の内容を整理する。 (8分)	○ 将軍、老中ごとに行われた改革を、ワークシートを用いて整理し、それぞれの取り組みと結果を確認できるようにする。	
5 江戸時代が長く続いた理由を、これまでの学習内容を活用して、資料に着目して適切に表現する。 (1)個人で考える。 (2)グループで考える。 (3)全体で考える。 (20分)	○ 単元の学習で用いた資料を活用して考えるようにする。 ○ 個人で考察してワークシートに記入してからグループで活動することで、話し合いを円滑に進めやすくする。 ○ ホワイトボードに書いて、全体で意見を共有できるようにする。 ○ 考察がしにくい生徒に関しては、特定の資料1つに着目するよう声をかけ、考察しやすくする。	○ 江戸時代が260余年も続いたのはなぜか、幕藩体制の仕組みや改革の影響に着目して適切に表現している。 [思考・判断・表現] (発表・グループ活動・ワークシート)
6 本時のまとめを書く。 (10分)	○ 生徒が記入したホワイトボードから、重要な部分を赤でラインを引き、まとめが書きやすいようにする。 ○ ワークシートに単元のまとめを書く。 <b>まとめ 親藩・譜代・外様大名の配置を工夫し、反乱がおこりにくいようにしている。また、鎖国下の対外政策により、統制をかけている。幕府の財政難に対しては改革を行い、回復を目指している。</b>	
7 振り返りをする。 (4分)	○ 自己評価表に記入することで、自分の学習を確認しやすくする。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

江戸時代が長く続いた理由を、資料に触れて自分の言葉でワークシートに表現している。

単元名：

単元を貫く問い

この単元を学習した後の感想・学習前からイメージが変わったこと

単元を貫く問いに対する答え。

---

---

---

---

---

---

---

---

第2学年C組 道徳科学習指導案

令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 2年C組教室 指導者

教材名	ネパールのビール
本時の目標	○ 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや誇りをもって生きようとする心があることを理解し、深い人間愛のすばらしさや人間として生きる喜びを見出していこうとする道徳的心情を育む。

	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入	1 教材の概要を知る。 (3分)	○ 今日の話の舞台はネパールです。主人公は、テレビのディレクターというお仕事の方です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 「人とのかかわりで大切なことは何だろうか。」について自分の考えをもつことができる。</div>	○ 地図からネパールの山岳地域ゆへの厳しさを押さえる。
展開	2 範読を聞く。 (3分)		
	3 2回目の買い出しを頼んだ私の心情を考える。 (7分)	○ 2回目のビールの買い出しを頼む私は、どんなことを考えていましたか。 ・またうまいビールが飲めるなあ。 ・チェトリ君、また行ってくれてありがとう。 ・子どもを使いに出すのは少し不安だな。	○ 人間の弱さや欲望から安易な判断をした私の考えを押さえる。
	4 チェトリを心配する私が村人や先生の話から後悔したことを考える。 (7分)	○ 先生に対策を相談した私は、どのようなことを思ったでしょうか。 ・お金を持ち逃げされたのではないか。 ・チェトリ君はそんな子ではない。 ・子どもにあんな大金を持たせたのはまずかったなあ。 ・もしかしたら事故にでもあっているのかも。	○ チェトリを疑う気持ちとそれを信じたくない気持ちの葛藤に気付かせる。
5 チェトリの話聞いて、思わず肩を抱いて泣く私の心情を考える。 (1)個人で考える。 (2)グループで考える。 (3)全体で考える。 (20分)	◎ チェトリの話聞き、彼の肩を抱く私は、どんな思いで涙を流したのでしょうか。 ・無事に帰ってきてくれて本当にうれしい。 ・チェトリが犯罪者にならなくてよかった。 ・たくさん買うために危険な目に遭わせてしまって本当に悪かった。欲望に負けた自分の判断力の甘さに腹が立つ。 ・チェトリがお金を持って逃げたと思い、彼のことを疑った自分が愚かだ。 ・周りの言葉に影響されて、最後まで彼を信じることができなかった。人をみる目がない自分が情けない。 ・チェトリは一生けん命に役目を果たそうとした。自分は子どもを利用したり、疑ったりしたりし、ずるく醜い気持ちがあり恥ずかしい。	○ 安堵感だけでなくチェトリを疑ったことへの自責の念、チェトリの心の美しさへの感動など、意見交流を通して、多面的・多角的にとらえられるように促す。 ○ グループの話合いの様子を観察し、考えが深まるように補助的な発問をする。	
終末	6 ICT機器を用いて本時の学習を振り返る。 (10分)	○ 今日の授業を通して感じたことや考えたことは何だろう。	

学びポケット：スクールタクト

ネパールのビール × Quiz MILLIONAIRE × ネパールのビール × InterCLASS for Chrome × まなびポケット × ネパールのビール ×

sp3.ed-cl.com/exercises/6079564/works/122896125

共通ブックマーク

すべてのブックマーク

ネパールのビール

設定

配布



追加



A



ネパールのビール

人とのかわりで大切なことは何だろうか。

ここに書く

ページ 1 / 1

<<

○



10月31日 9:10 電池

第3学年A組 音楽科学習指導案

令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 音楽室 指導者

単元名	舞台芸術の共通性と固有性
指導計画	第一次 オペラ「アイダ」・・・2時間 第二次 歌舞伎「勸進帳」・・・2時間 第三次 舞台芸術の共通性と固有性・・・1時間(本時は第1時)
本時案(指導計画 第三次 第1時)	
本時の目標	○ オペラと歌舞伎の共通点と相違点を考え、それぞれのよさをまとめることができる。 [思考・判断・表現]

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 前時の学習を振り返る。 (2分)	○ 前時までの学習を振り返ることで、オペラと歌舞伎の特徴を想起させる。 ○ 先行課題への取り組み状況を確認し、本時の学習課題につなぐ。	
2 本時のめあてを知る。 (3分)	めあて オペラと歌舞伎の共通点と相違点を考え、それぞれの良さをまとめることができる。	
3 オペラと歌舞伎の共通点と相違点を考える。 (1)個人で考える。 (10分)	○ 思考ツールとしてベン図と表を用意し、各自が活用したいツールを選択できるようにすることで、活動に取り組みやすくする。 ○ Google Classroomに「アイダ」と「勸進帳」の主要な場面の動画をアップロードしておき、各自自由に視聴して比較できるようにしておく。 ○ 活動が進まない生徒には、「歌い方は?」、「楽器は?」と声かけをすることで、具体的な視点をもつことができるようにする。	
(2)グループで考える。 (10分)	○ グループ活動用の拡大版ワークシートを配付し、学習班ごとに意見をまとめさせる。 ○ 各自の意見を伝え合っただけになっている班には、音楽的な特徴と音楽以外の特徴に分類させるなど、意見交流を促し、考えを深めることができるようにする。	
(3)全体で考える。 (10分)	○ グループでまとめた内容を発表させ、全体で考えを共有できるようにする。 ○ 音楽的な特徴に関する考えは、全体で動画を部分鑑賞することで、実感を伴った理解につなげる。	
4 オペラと歌舞伎の良さをまとめる。 (10分)	○ 個人、グループ、全体で考えたオペラと歌舞伎の共通点と相違点をもとに、ワークシートにそれぞれの良さをまとめるようにする。 ○ 考えをもちにくい生徒には、単元全体のワークシートを見返したり、周りの生徒に相談したりしてもよいことを伝える。	○ オペラと歌舞伎の共通点と相違点を考え、それぞれのよさをまとめている。 [思考・判断・表現] (ワークシート)
5 本時の振り返りをする。 (5分)	○ 数名が発表することで、多様な意見に触れ、音楽(舞台芸術)のよさを多面的・多角的に捉えることができるようにする。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

オペラと歌舞伎の共通点と相違点を考え、それぞれのよさに着目してまとめている。

オペラと歌舞伎の共通点と相違点を考えて、よさをまとめよう♪

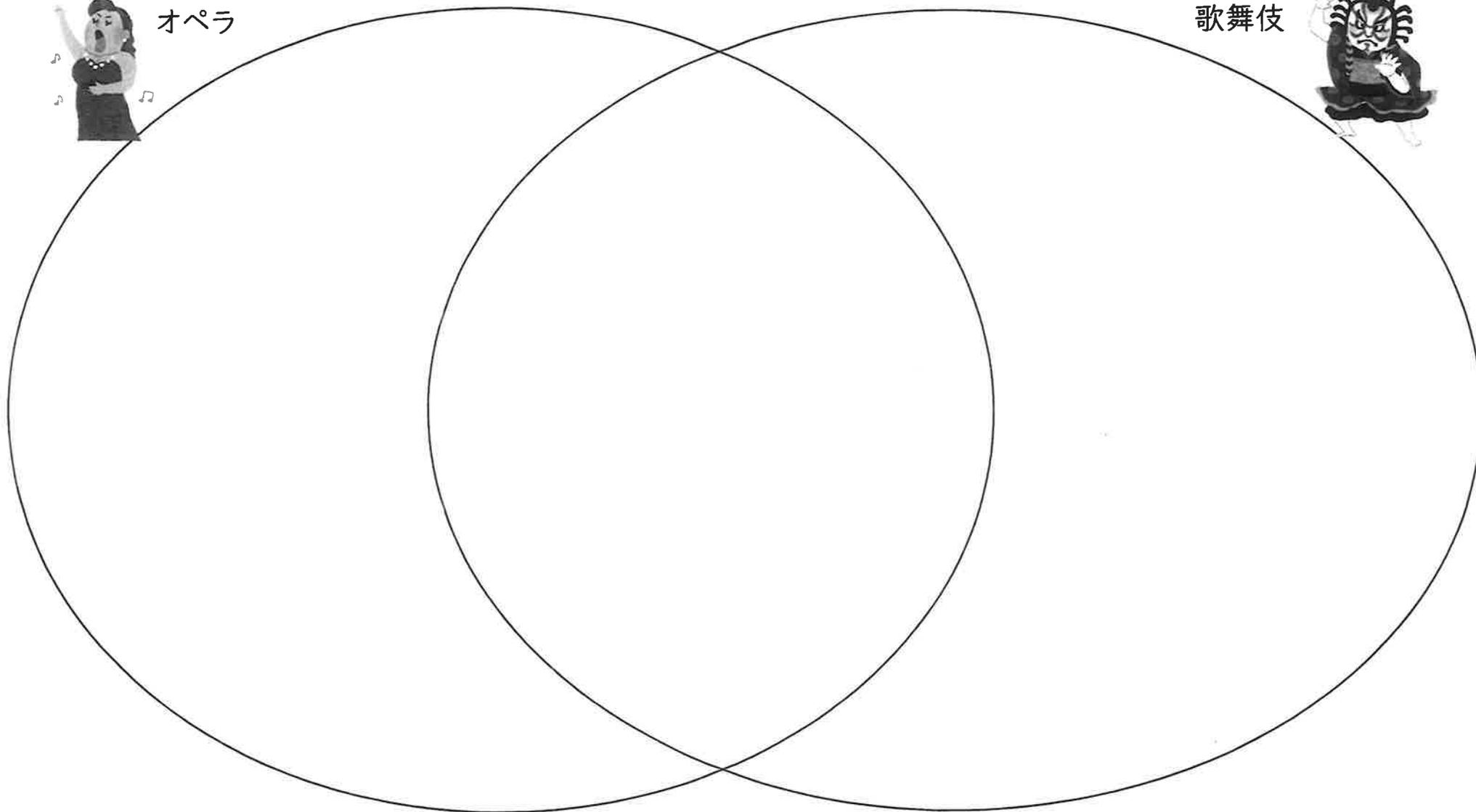
( )組( )番 ( )



オペラ



歌舞伎







第3学年B組 国語科学習指導案	
令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 3年B組教室 指導者	
単元名	自らの考えを
指導計画	第一次 「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」・・・4時間 (本時は第4時) 第二次 多角的に分析して書こう・・・・・・・・・・・・・・・・・・4時間 第三次 合意形成に向けて話し合おう・・・・・・・・・・・・・・・・・・4時間
本時案 (指導計画 第一次 第4時)	
本時の目標	○ 「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」の内容を受けて、主体的な意見交換をすることができる。 [思考・判断・表現]

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 前時の学習を振り返る。 (3分)	○ 前時のワークシートの内容を確認し、本時の活動につなげる。	
2 本時のめあてを知る。 (3分)	○ めあてとともに、本時の流れを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて 二つの作品の内容を受けて、自分の意見を伝え合うことができる。</div>	
3 話し合いの方法を知る。 (5分)	○ 話し合いにはペアを活用し、取り組みが主体的なものとなるようにする。 ○ 観察の視点をあらかじめ示しておく。 ○ 自分が話し合っている様子を自撮りし、振り返りに活用できるようにする。 ○ 先行課題(AI人類の理想の未来について考える)を活かし、教材からさらに発展した意見交換をするよう助言する。	
4 話し合う。(12分)	○ 目標として話し合う時間を明示し、積極的に発言する動機づけをする。 ○ 会話が進まないペアを想定して、話し合いのスキルと話し合いの観点を示す。	○ 二つの作品の内容を受けて、主体的な意見を伝え合うことができる。 [思考・判断・表現] (観察・動画)
5 話し合いと観察から気づいたことをグループでまとめる。 (10分)	○ マイノートを活用し、自撮りの視聴と観察から気づいたことを、各自まとめることができるようにする。 ○ 学習班で効率よく意見交換と発表ができるよう、ホワイトボードを活用する。	
6 各グループのまとめを共有する。 (12分)	○ 多くのグループに共通する視点と相違点を全体で共有できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">まとめ 機会があるごとにさまざまな意見に触れながら、自分なりの考えをさらに深めていくことが大切である。</div>	
7 振り返りをする。 (5分)	○ マイノートに記入することで、本時の学びを確かめることができるようにする。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例  
教材文をもとに、自分なりの主体的な意見を言葉で表現している。



第3学年C組 英語科学習指導案

令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 3年C組教室 指導者

単元名	Lesson5 I Have a Dream		
指導計画	第一次 GET	・・・	4時間 (本時は第2時)
	第二次 USE	・・・	6時間
	第三次 Take Action!	・・・	2時間
	第四次 Project2	・・・	1時間
本時案 (指導計画 第一次 第2時)			
本時の目標	○ 関係代名詞を使った文を読みとることができる。 <div style="text-align: right;">[知識・技能]</div> ○ ペアで協力して、本文読解や発話練習に取り組むことができる。 <div style="text-align: right;">[主体的に学習に取り組む態度]</div>		

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 ペアでやりとりをし、日付等をワークシートに記入する。 (3分)	○ ペア同士で会話をしたり、ワークシートに正しく記入したりできるように声かけをする。	
2 本時のめあてを知る。 (2分)	○ ワークシートにめあてを記入することで意識づけを行う。  <b>めあて 関係代名詞を使うと、文を使って単語を説明できることを理解する。</b>	
3 新出語句を確認する。 (3分)	○ デジタル教科書のフラッシュカードを用い、新出語句の発音や意味を確認する。	
4 教科書p.70の本文を読解する。 (1)ペアで考える。 (2)全体で確認する。 (27分)	○ 先行学習時に読むことができなかった単語の読み方を確認できるように、教科書の範読の音声を流す。 ○ ペアで本文の意味を考えることで、本文読解の際の理解を深めやすくする。 ○ 考察がしにくい生徒に関しては、前時で習った関係代名詞を使った文があることに気づかせることで考察しやすくする。 ○ 授業用プリントを教材提示装置で提示する。 ○ 電子黒板に書き込みながら、英文を読解する上で重要なポイントや解釈の仕方を伝える。  <b>まとめ 関係代名詞を使うと、文を使って単語を説明することができる。</b>	○ ペアで協力して本文読解に取り組んでいる。 [主体的に学習に取り組む態度] (観察)  ○ 関係代名詞を使った文を読みとることができる。 [知識・技能] (発表・観察・ペア活動・ノート)
5 音読の練習をする。 (1)個人で練習する。 (2)ペアで練習する。 (7分)	○ 意味を押さえたのちに本文を音読することで、発音と本文の内容理解を深められるようにする。	○ ペアで協力して発話練習に取り組んでいる。 [主体的に学習に取り組む態度] (観察)
6 本時のふりかえりをする。 (8分)	○ ワークシートに記入することで、本時の学習を定着しやすくする。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

関係代名詞が名詞をどのように修飾しているか理解している。

お互いに意見を発しながら、ペアで積極的に言語活動を行っている。

Class No. Name No.

Date (日付), Weather (天気)	Friend's ♡
Goal (目標)	
Today's expressions [ ]	
Reflections (ふりかえり)	Your ♡

Date (日付), Weather (天気)	Friend's ♡
Goal (目標)	
Today's expressions [ ]	
Reflections (ふりかえり)	Your ♡

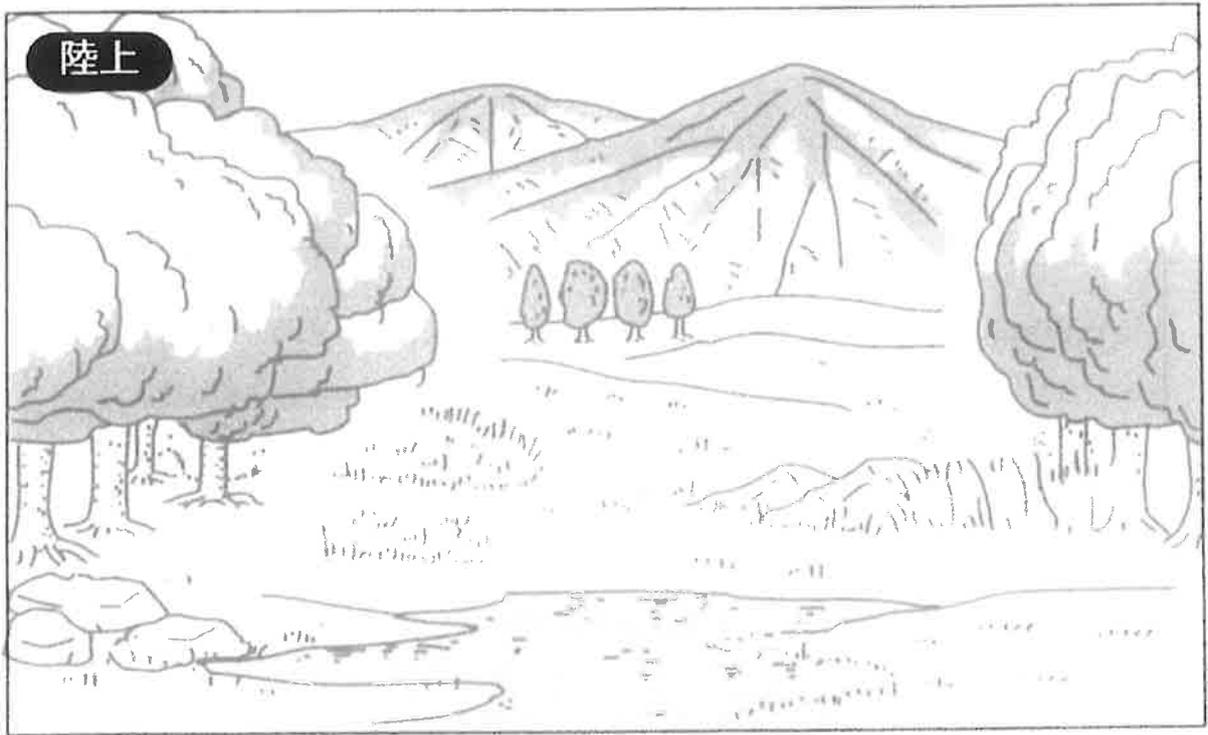
Date (日付), Weather (天気)	Friend's ♡
Goal (目標)	
Today's expressions [ ]	
Reflections (ふりかえり)	Your ♡

F組 理科学習指導案	
令和6年11月8日(金) 第5校時 場所 F組教室 指導者	
単元名	自然と人間
指導計画	第一次 自然界のつり合い ・ ・ ・ 6時間 (本時は第1時) 第二次 さまざまな物質の利用と人間 ・ ・ ・ 4時間 第三次 科学技術の発展 ・ ・ ・ 6時間 第四次 人間と環境 ・ ・ ・ 3時間 第五次 持続可能な社会をめざして ・ ・ ・ 4時間
本時案 (指導計画 第一次 第1時)	
本時の目標	○ 食物連鎖における生物のつながりについて説明することができる。 [思考・判断・表現]

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 イラストの環境に生息している生物を表現する。(7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先行課題で考えた生物の名前を記入するように伝え、本時に取り組みやすくする。</li> <li>○ 付箋に生物の名前を記入し貼り付けることで、考えを整理しやすくする。</li> <li>○ 動物だけでなく植物についても考えるように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物連鎖における生物のつながりについてワークシートに表現している。 [思考・判断・表現] (発表・観察・グループ活動・ワークシート)</li> </ul>
2 本時のめあてを知る。(3分)	<b>めあて 生物のつながりについて説明できる。</b>	
3 生物のつながりについて考察する。 (1)個人で考える。 (2)グループで考える。 (3)全体で考える。(20分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生物のつながりを矢印でつなぐことで、考察しやすくする。</li> <li>○ ワークシート(Figma)に記入し、お互いの考えを確認しやすくする。</li> <li>○ 個人で考えをまとめて、その後グループにし、役割を与えることで円滑な話し合いができるようにする。</li> <li>○ グループは少人数とし、取り組みが主体的なものとなるようにする。</li> <li>○ 考察がしにくい生徒に関しては、ICT機器を活用して、動植物の生活の例を示して考察しやすくする。</li> </ul> <p>生徒の記述予想： 「食べる、食べられるの関係になっている」など。</p>	
4 異なる環境でのつながりについて考察する。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習した内容をもとに考察することを伝える。</li> <li>○ ワークシート(Figma)に記入し、自分の考えをまとめる。</li> </ul>	
5 本時のまとめを聞く。(5分)	<b>まとめ 自然の中で生活している生物は、食物連鎖でつながっている。</b>	
6 振り返りをする。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返りをワークシート(Google Forms)に記入し、自分の学習を確認しやすくする。</li> </ul>	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例  
食物連鎖における生物のつながりについてワークシートにまとめている。

陸上



まとめ

自分の言葉で理由を考えることができた。\*

1 2 3 4 5

よくできた      あまりできなかった

班員と協力して取り組むことができた。\*

1 2 3 4 5

よくできた      あまりできなかった

意欲的に取り組むことができた。\*

1 2 3 4 5

よくできた      あまりできなかった

今日の授業で学んだこと、分かったこと、できたこと、考えたことなどを自分の言葉で書こう。

回答を入力

<研究発表会アンケートについて>

本研究発表会にご参加いただいてのご意見・ご感想をお聞かせください。

ご協力よろしくお願いします。

アンケートは、次の二次元コードを読み取ってお答えください。

